

## 「求名小学校の鷹踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

さつま町立求名小学校

### 2 学年・人数

第3学年6人，第4学年10人，第5学年8人，第6学年5人

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和2年9月3日～令和2年9月18日 求名小学校体育館

#### (2) 発表の日時・場所

令和2年9月20日（日）求名小学校秋季大運動会（本校校庭）  
令和2年11月14日（土）求名小学習発表会（農村環境改善センター）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

鷹踊り（たかおどり）

#### (2) 由来

昔の領主の狩猟は武士の武術修練と領民の生活動向を察する目的をもって行われたと考えられている。農民は勢子を駆り立て奉公させた。鷹狩りの様子を踊りにしこみ，鎮守のお祭りや殿様の領主巡りのなどの時，武運長久と領内安穩，領民の安全を祈って踊るようになった。

#### (3) 構成等

鷹（タカ）という殿様役（基本男性10人位），エサシ（餌さし）役（基本女性10人位）で20人程度で踊る。

タカ役・エサシ役が二列に並んで楽の開始で踊り始める。タカ役はタカを前方に支えたまま扇子を持った右手を左右に振って舞う。

### 5 保存会や地域との連携の具体

この郷土に残る踊りを次の世代へ伝承しようと郷土教育と子どもの健全育成，地域の活性化といった学社連携の面から昭和63年夏，求名文化財団少年団が結成され，下手地区の鷹踊り保存会の熱心な指導によって伝承されている。鷹踊り保存会は，下手公民会の住民や出身者で構成している。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

本校では，3年生以上が総合的な学習の時間に校区の方々とふれあいながら，郷土への愛情や誇りをもち，そのよさを守り伝えようとする態度を育むために伝統芸能継承学習として「鷹踊り」を学んでいる。鷹踊りについて地域の方の話を聞き，調べる活動や踊りの練習をしている。また，郷土芸能を発表する場として，今年度，運動会や学習発表会で披露している。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【保存会メンバーによる指導】



【運動会での発表】



【着付けの様子】



【学習発表会での発表】

## 8 参加児童・保護者・教員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 鷹踊りは踊るのが難しいのに、今までたくさんの方が踊って、続いていることを考えるとすごいなと思いました。これかもたくさんの方がつなげて続けていってほしいと思います。
- ・ 学習発表会で鷹踊りを踊りました。とても緊張しましたが、とってもきれいに踊れました。親や友達にとってもほめられました。来年はもっときれいに踊れるようにがんばります。

### 【教職員】

- ・ 保護者・地域の方の前で踊ることは、子どもたちにとって、よい体験となっていると思います。児童が減少しているために今年から3年生からの参加となりましたが、これからも取組を継続して行ってほしいと思います。

### 【保護者から】

- ・ 運動会はコロナ禍での開催、発表であったが子どもたちが元気に踊る姿を見ることができてよかった。
- ・ 着付けをして発表する機会が今年度なかったので、学習発表会で衣装を着て踊る姿を見るとやっぱりいいですね。これぞ、求名小の伝統だと思います。
- ・ 鷹踊りはいつ見てもすばらしいと思いました。できる限り伝承して行ってほしいと思います。